

知的生産の技術 アンケート(20051114)

1

横野洋卯子さんの話を聞いて、目の前にあることを一生懸命やるのが大事であると教えていただきました。「過去と他人は変えられない。だけど自分の未来は変えられる。」という言葉は、横野さんの話の中でもっとも記憶に残ると思います。高校時代の出来事・思い出は考える時間が足りず、20項目しか書けませんでした。また、なかなか思い出すことができない内容もありました。

の仕事を生涯し続けるのも憧れるけれど、横野さんや久恒先生みたいに、いろいろ経験するのもいいなと思いました。高校に入って医療の道を志すようにな初心に戻った気がしました。私はきっと、ずっと医療の世界で生きていければ視野を広く持ちたいと思いました。

分の将来について明確に決行動しているの、横野さん話はそれはそれで聞くことできたが、参考にはならなかった。自分は自分の道を歩むのです。

横野氏講演、面白く拝聴いたしました。飄離れ小離れの時期」をさかいに自分探しが始まったような気がしました。「自分が決定権者になること」が夢という母親からの自立が現在の姿になっている気がします。学問の世界と全く違う畑違いの職業を選んでいることにはかなり遠回りしたんだな～と感じました。私の高校時代は、昭和35年5月のチリ津波で生活が一変し、激動の3年間だったです。

3

さんの話は面白かった。ただ、皆から誰とでも仲なれる面」と皆いじめられることも多く人との距離がつかめずにひっこみじあん」って面がどう共存してのだろうと不思議に思った。よくよく考えてみるとの性格も矛盾している点が多いので、そういう矛盾かえって人間らしいのかもと思った。すごく横野さんパワフルで、逆境を前向きに考えパワーにかえてるのがすごい。

1つの仕事で満足せず、自分の天職を探すために様々なことに挑戦する姿が印象的でした。

2

母親の価値観の押しつけで生きてきた横野の話は、私もちょうど同じ壁にぶちあたったので、同じ境遇であると感じた。私も横野みたいにたくましくなおかつ女性らしく生きることができるのかなあ?? 高校時代はあまり印象がなかった…。どうして印象に残っているのだろう…。ショック。

横野さんのお話を聞いて、その力強さに感動しました。5回も転職なさうで、相当の努力をなさったと思います。それに比べて自分は、ただ一踏み出すことさえ恐れて今決定してしまったことが生涯つづけなければいけないのだと思いこんでしまっています。「自分と未来は変えられる。」や自分自身の努力がキーポイントになるのだとわかりました。また、2500人も面接なさったそうで、どんな人に魅力をかんじたのか、伺ってみたいです。

私の母と同じ年なのに、とても若くて肌もきれいで驚きました。また、いきいきと活していることが伝わってきました。私は就職のことなど、本格的に考えなならない時期で、横野先生の講義を受けて「自分自身の人生は自分でつくる」に合った仕事は楽しい」致命的な失敗はない」などたくさんのメッセージをいただき、考えさせられたし、今後の人生に役立つ言葉だと感じた。それから、コミュニケーションについて、私も人は好きだけれど、最近コミュニケーションを意識しすぎてうまくできなくなっている気がします。だから、横野先生考えるコミュニケーションのこつや意識していることを教えてほしいと思います。

5

横野さんの経歴を見てみると実に様々な職業をしていることがわかる。日本では、まだ終身雇用度のなごりのせいか、職を転々とするのはよくないという考えがあるかもしれない。横野さんの話を聞くと、横野さんは充実した人生のように思える。欧米の考えをステップアップするための転職を、日本にも浸透させればいいのと感じた。

6

何事も続けることが大事というのはすごく共感できる。また、今日お話いただいた、未来と自分という言葉もすごく大切なことだと思う。自分の中の言霊があると、苦しいときにがんばれる。

今日講演をきいて、小さい頃は人との距離がわからなかったと言っていたのに、今は積極的に人と関わられるようになってきているというのがスゴイと思う。これは過去を振り返ることによって、「自分」というものがわかったからなのかなと思った。私も過去を振り返ることで新しい自分を見つけられたらいいかなと思う。

今考えてみると、高校時代はかなり自分の生き方について悩んだと思う。横野さんも「高校時代は将来にむけて何をしたらよいか分からなかった」とおっしゃっていたが、私もやはり何をすべきかという明確なビジョンを持つことができなかった。高校時代に限らず今もあいまいなものしか見えていないのだが、私にとって将来に向けてどうするか？という考えを固めることが急務なのかもしれない。

7

転職をするのは自分探しのプロセスだという話になるほどと思った。私自身もいろいろなことに興味を持ち、様々なことにチャレンジするため、これも自分を探すためのものなんだなと感じた。

失敗は今まであまり怖くなかったが、「後悔することは人生においてそうない」失敗も挽回できる」という話を聞いて、今後も自分を信じて頑張っていこうと思った。本当にためになる講演でした。ありがとうございました。

授業の感想としては、あまりみんなと話すことができず、どのような高校生活を送ってきたかが見えにくかったが、だんだんみんなも私も現在の人生に近づいてきている。その変化を今後も授業を通してみたいと思う。

9

横野さんの話を聞いて、そろそろ自分のこれからを決める時期になっているのかなと感じた。しかし、まだ自分の中でこれといったものがないので、時間をかけてゆっくり考えようと思った。

過去や他人は変えられないが、自分や将来は変えられる。まさにその通りだと思いました。過去だけにとらわれず、現在や未来のために考え行動していきたいと考えました。

洋卯子先生のお話は、幼い頃内気な感じの子だったのに大人にならなりの転職をし、生き生きと前向きに歩んできているとお聞きし、人いつでも変われるんだなと力をもらった。

私は人付き合いが苦手だが、人との出会いの中で、横野先生のように自分を見つめ直し、自分をいい方向に変えていけたらいいと思う。高校時代は、今とあまり変わらない。

映像で、この頃から、自分はあまり変わっていないように感じた。今あまり時間がなく考えられなかったのも、もっと掘り下げて考えて違った自分も見えてくるのではないだろうか。

今日はめったに聞けないような話を聞けてよかった。自分にこそ通ずるところがあるので、とてもためになった。

自分の将来を考えると参考にした。高校の時のことは、すごく最近のことだったので、とても思い出しやすかった。